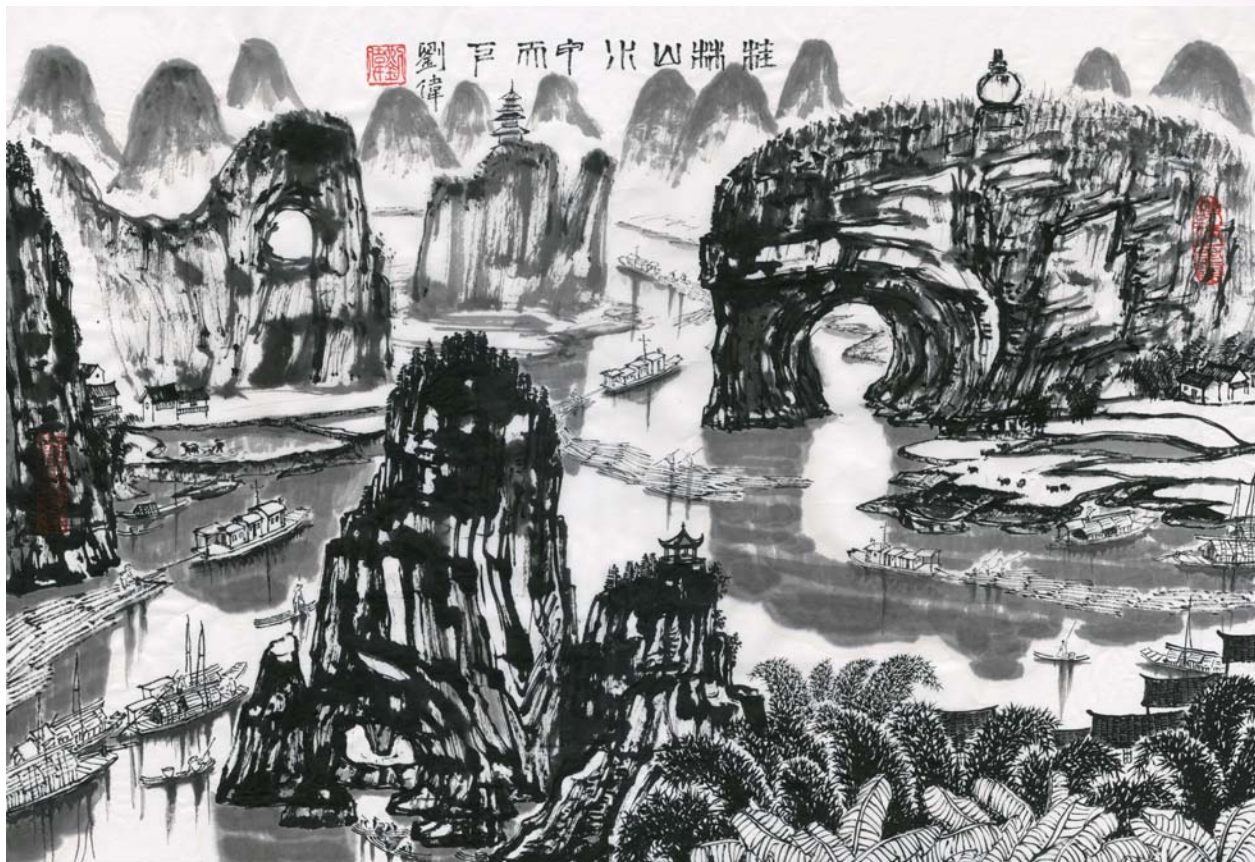


多摩のかけはし

最終号



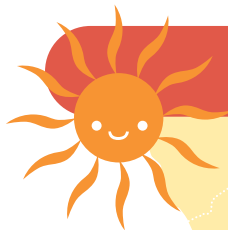
多摩交流センターだより No.115 平成25年8月1日発行(隔月刊)



「桂林山水図」(墨劉会 劉偉氏作)

今月の内容

多摩の魅力発見!.....	2	広域的市民ネットワーク活動助成等事業紹介.....	8
○「五藤光学研究所・多摩六都科学館」		○9・10月開催イベント	
○「気象衛星センター・清瀬ひまわりフェスティバル」		「多摩のかけはし」ありがとう!.....	10
学生ボランティア団体紹介 一橋大学.....	4	編集後記.....	11
みどり東京 体験型一般公開講座参加者募集.....	5	第17回多摩の歴史講座受講者募集.....	12
講座・講義案内.....	6	テーマ「移りゆく多摩の景観と暮らし」	
○多摩発・遠隔生涯学習講座		多摩東京移管120周年 記念イベントのお知らせ.....	12
○東京雑学大学講義		多摩交流センター登録団体会員募集.....	12
TAMA市民塾からのお知らせ.....	7		



「シリーズ 多摩の魅力発見!」 第4回

多摩地域には、「知る人ぞ知る」というようなたくさんの魅力が隠れています。

このシリーズでは、特産品などの製造所や加工所、また映画やドラマのロケ地など多摩地域に拠点があり、多摩地域の魅力を発信している地域資源に注目し、地域とのつながりや取り組みなどを取材し紹介します。

五藤光学研究所

(府中市)

株式会社五藤光学研究所(以下、「五藤光学」)は、五藤齊三氏の手により、1926年に世田谷区三軒茶屋で天体望遠鏡専門メーカーとして創業され、その後の国内外からのプラネタリウム受注の増加などに対応するため、1963年



▲プラネタリウムについて語る
明井さん

に府中市矢崎町へ移転しました。創業以来ずっと、幅広く天文・宇宙・映像空間に関係する事業を展開しています。今回は企画営業部長の明井(あかい)さんと広報担当の今井さん(いまい)さんに、プラネタリウムや地域に対する思いなどについてお話を伺いました。

五藤光学製のプラネタリウムは現在、全世界のプラネタリウム館に納入され、日本市場の70%、世界市場の40%の納入実績(累計)があります。製品のなかでも特に有名なのが、西東京市の多摩六都科学館において2012年から公開されている光学式プラネタリウム「CHIRONII(ケイロンII)」です。

この製品は、世界最多の約1億4000万個の恒星を大型ドームに鮮明に投射することを実現し、かつ光源に高輝度LEDを採用したことで、省電力・長寿命など環境問題にも配慮しながら、より本物に近い星空を再現することが可能になりました。このことから2012年に「最も先進的なプラネタリウム」としてギネス世界記録に認定されています。なお、「ケイロン」とは、ギリシア神話に登場する半人半馬の怪物であるケンタウルス族の賢者(神々から多くの事柄を学び、英雄たちに伝授したとされます。)の名にちなみつけられたそうです。

今後の展開などについて伺うと、「1963年に府中に移転してから50年間、創業者の想いを受け継いでモノづくりを続けてきたことが、今回のギネス認定にも繋がった。プラ



▲「ケイロンII」の本体
(星の投射中に邪魔にならず、
コーポレートカラーでもある紫色です。)

ネタリウムは疑似空間であるので、星空や自然に近いより本物らしい空間を作ることを目指したい。疑似空間であることを逆手にとって、地球を外から見られるようにするなどして、さらに完成度を高めていきたい。また、町田市の桜美林大学オープンカレッジで開講している天文講座では、宇宙を愛する社員自らが講師を務めているように、今後学校教育や生涯教育などに積極的に関わっていくことで、地域に貢献していきたい。」と熱い思いを語って頂きました。そして、多摩地域は、豊かな自然と交通などの利便性のバランスが良い地域であることなどから、今後も五藤光学は府中市に拠点を置き、世界を相手に仕事をしていくとのことです。

行ってみました! 多摩六都科学館(西東京市)

多摩六都科学館は多摩の北東部、西東京市にあります。敷地内に入ると、まずプラネタリウムドームの大きさに圧倒されます。ドーム直径27.5mは世界第4位(日本第3位)の大きさを誇り、その内部中央に設置してあるのが、先ほど紹介した光学式プラネタリウム



▲多摩六都科学館プラネタリウムドーム
“サイエンスエッグ”外観

「ケイロンII」です。近づいてみると幅70cmほどと、ドームの大きさの割には小型な印象を受けました。実際の映像を見せていただくと、ドームいっぱい広がる満天の星と、それに重なるように映されるデジタル映像の迫力に、まるで実際に宇宙旅行をしているような“没入感”を味わうことができました。

同館ではプラネタリウム以外にも様々なテーマの展示室を設けていて、現在は夏休み企画として「大昆虫展」が開催されています。今後は、売店に地域の物産を置くなど、地域交流の場としての価値を高めていきたいとのことでした。

東京では夜もたくさんの光が灯され、夜空の星をゆっくりと眺める機会も減ってしまいました。長い夏の一夜、星空を見上げ遠い宇宙に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

株式会社 五藤光学研究所

☎ 042-362-5311

ホームページ <http://www.goto.co.jp/>

多摩六都科学館

☎ 042-469-6100

ホームページ <http://www.tamarokuto.or.jp/>

気象衛星センター (清瀬市)

清瀬市内には「コミュニティプラザひまわり」や「ひまわり通り」、「ひまわりフェスティバル」など「ひまわり」と名のつく施設やイベントがたくさんあります。そこで今回は、気象衛星「ひまわり」を管理・運用している清瀬市の気象衛星センターを紹介します。

<ひまわりの歴史・愛称の由来>

気象衛星センターでは、日本の気象衛星「ひまわり」や外国の極軌道気象衛星(コラム参照)が観測したデータを利用しやすい画像形式に変換したり、気象観測データ等と組み合わせて処理することにより、低気圧や台風などを



運用室

を常時監視するだけでなく、上空の大気の流れを観測し、数値予報の実況値として提供したり、海面水温や黄砂、火山の噴煙など利用目的に合わせた気象衛星資料を作成しています。また、これらの資料は、観測後すぐに気象庁をはじめ、国内外の気象機関や関係省庁、航空会社、報道関係等に送られ、利用されています。

日本の気象衛星は、1977年に最初の静止気象衛星としてアメリカにあるケネディ宇宙センターから打ち上げられ、愛称を「ひまわり」と命名されました。現在は6号と7号が運用されており、愛称の由来は植物のヒマワリからきているようです。ヒマワリの花は常に太陽に向かって花を咲かせるため、向きが変化するといわれています。このことからいつも地球を同じ方向から見ているという意味と、1日に1回地球を回るという意味で「ひまわり」と名付けられました。

<ひまわりの役割>

「ひまわり」は、宇宙(地球の赤道上空約35,800kmの静止軌道)から地球を見つめ雲の分布や大気の流れなどを常に観測することができ、気象解析や天気予報の精度向上、気象警報等の迅速かつ的確な発表に役立っています。そしてもう一つの大きな役割が台風の監視です。海上にある台風を一週間前から監視することが可能な唯一の手段として、災害の防止・軽減に力を発揮しています。このように気象衛星センターや「ひまわり」は、東アジアを中心に、東南アジアやオセアニア地域の防災にも有益な衛星観測画像を日々発信し続けている、私たちの安全・安心な生活に不可欠な存在であることがわかりました。

<地域とのつながり>

気象衛星センターでは、5名以上の団体を対象にした施設見学を実施しているほか、公開行事として8月にお天気フェアを開催しています。今年も8月24日(土)に展示、講演会、体験コーナー、クイズなど楽しいプログラムを用意して、皆さんの来場をお待ちしているとのことです。これを機会に気象衛星や天気のことを学んでみてはいかがでしょうか？



展示室

気象衛星センター ☎042-493-1111

Q 極軌道気象衛星とは何ですか？

A ひまわりは赤道上空で地球と一緒に(つまり横に)に回って観測していますが、これとは別に高度850km上空を南北極を通過しながら(つまり縦に)回って観測している衛星です。

Q 現在運用している世界の主な静止気象衛星はいくつあるのですか？

A 主なものとして日本のひまわりを含め、14機あります。どの機体も地球全体の気象観測には必要なものです。

Q ひまわりが観測したデータを利用している国はいくつあるのですか？

A 現在、ひまわりの利用国はアジア・太平洋地域を中心に日本を含め28か国あります。

Q ひまわりの機体の重さってどのくらいですか？

A 燃料を除くと、6号で約1.3t、7号で約1.7tであり、平均的な乗用車1台の重さとほぼ同じです。



清瀬ひまわりフェスティバル

清瀬ひまわりフェスティバルは今年で6回目を迎えます。今回は、24,000㎡の畑に10万本を超えるひまわりが花を咲かせる予定です。夏の思い出の一つとして、ひまわりが咲き乱れる清瀬の“農ある風景”を楽しんでみませんか。

▽開催日程 平成25年8月17日(土)～9月1日(日)

※詳細は清瀬市ホームページの

▽開催場所 石井ファーム圃場等(清瀬市下清戸三丁目)

「sunflower diary～ひまわり日記～」をご覧ください。

▽入園 無料

▽問合せ 清瀬市・清瀬市農ある風景を守る会 ☎042-492-5111(内線242)

学生ボランティア団体紹介

～学生による多摩のまちづくり～

これからの地域社会の担い手として若者の力が注目されています。多くの大学等が立地する多摩地域では、学生による地域課題の解決や地域活性化のための活動が盛んに行われています。今回は、一橋大学のボランティア団体の活動を紹介します。

●Pro-K

私たちPro-Kは、学生が実社会に飛び込み、カフェや物産店、雑貨屋の経営、貸しホール事業、商店街との協同事業などを展開するという、まちづくりの団体です。Pro-Kとは「Project in Kunitachi」の略で、国立を主な活動の場として、商店主、地域住民、行政など多様な人々と協力して活動しています。

カフェ「ここのた」では、学生と市民スタッフが考案した美味しいランチやスイーツ、サイフォンで淹れるコーヒーが自慢です。物産店「とれたの」では、地産地消をコンセプトに、毎朝収穫したての国立の野菜や地域の加工食品を販売しています。雑貨屋「ゆーから」では、市民の方から出品された雑貨を売っています。「まちかどホール」では、市民向けにホールの貸し出しを行っています。また、一橋大学の教授を招き市民向けの講座も開いています。

Pro-Kは、地域との結びつきも強く、商店街や地域のお祭りに参加したり、時には協同してイベントを行うこともあります。実在する店舗を持ち、地域の人と直接関わることはとても貴重な体験で、お客様に喜んでもらえることはとても楽しくやりがいがあります。ぜひ一度、私たちの活動している国立市に来てみてください。



カフェ「ここのた」
(国立市富士見台1-7-1 むっさ21商店街)

●国分寺子どもクラブ

国分寺子どもクラブは、国分寺市を中心に活動する障がい児福祉ボランティアサークルです。対象者は、小学生及び中学生の知的障がいのある子どもと、そのきょうだいです。活動としては週末に色々な場所へ出掛けたり、大学や公民館で料理を作ったり、工作をしたりして遊んでいます。何をするかは毎回学生が企画し、興味を持った子どもたちに任意で参加してもらっています。また、春にハイキング、夏に合宿、秋に運動会、冬にクリスマス会を毎年行っています。

クラブでは、子ども一人に対して学生が必ず一人つき、子どもたちが安全に楽しく過ごせるようにしています。子どもを預かることになるので、活動の前には必ず保護者の方と連絡を取っています。また、クラブには様々な子どもがおり、各自できることに差があるので、みんなが楽しめるように、レクリエーションの難易度を子どもによって変えるなどの工夫をしています。同じ理由から中学生だけが参加する回も設けています。

一人でも多くの子どもが笑顔で楽しく休日を過ごせるように、これからも活動していきたいと思っています。



笑顔で活動しています



オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

体験型一般公開講座

参加者
募集

みどり東京・温暖化防止プロジェクトは東京都内の全62市区町村と共同して、自然環境の保護、地球温暖化防止のための取り組みを行っています。今年度も本プロジェクトの一環として、体験型一般公開講座を実施します。

< 講座概要 >

No.	講座名	実施日	募集人数	参加費	講座内容	備考
1	森林セラピー奥多摩町① 奥多摩湖いこいの路と 森林ヨガ・そば打ち体験	10/11(金)	27人	2,000円	奥多摩湖畔で森林ヨガ、そば打ちを体験。ガイドウォークでは、その前後の健康をチェックし森林セラピーの効用を体験します。	昼食付き (そば)
2	森林セラピー奥多摩町② 奥多摩むかし道 セラピーロード全線ウォーク	10/16(水)	27人	2,000円	奥多摩駅付近から奥多摩湖までの旧街道コースを歩きます。コースでは巨樹や溪谷のほか、神社や道祖神などの歴史にも触れられます。	昼食付き
3	森林セラピー檜原村①	8/23(金)	27人	2,000円	弘沢の滝を散策し、都民の森で昼食。その後に森林セラピーロードをガイドウォーク、最後に数馬の湯につかり、檜原の自然を満喫します。	昼食付き
4	森林セラピー檜原村②	10/25(金)	27人	2,000円		
5	日の出山荘で自然体験	11/12(火)	25人	2,000円	ロン・ヤス会談の日の出山荘で森林環境学習及び竹林の間伐体験(苗木づくり)。町内の食材を使った昼食と山荘のお抹茶をいただきます。	昼食付き
6	町田市相原の 里山ガイドウォークツアー	11/16(土)	80人	1,000円	約9kmの相原の里山で歴史古道とゆかりの神社仏閣、公園をめぐるガイド付きウォークです。昼食は町田特製のお弁当です。	昼食付き
7	あきる野市戸倉 「野生動物が暮らせる森づくり」 ツアー	11/23(土)	30人	2,000円	森林レンジャーあきる野と一緒に野生動物が暮らせる森を学び、実際に森づくりを行います。最後は秋川溪谷瀬音の湯で入浴します。	昼食付き
8	施設見学バスツアー(市町村部) ～家庭ごみの最後を訪ねる	10/31(木)	30人	1,000円	ゴミ減量化と資源の有効活用、自然環境の保全再生について学びます。日の出町の最終処分場を見学し、隣接の公園予定地を散策後、つるつる温泉で入浴します。	昼食 各自持参
9	施設見学バスツアー(区部) ～最先端省エネ技術施設見学と 家庭でできる省エネを考える	12月実施	30人	2,000円	東京スカイツリータウン地域冷暖房施設とガスの科学館で、家庭でできる省エネ等についての展示見学等を行います。	昼食は 各自で

- 対象 18歳以上の都民。ただし、No.3 森林セラピー檜原村①は小学生以上
- 申込方法等詳細は、ホームページ<http://www.ondankaboushi-taiken.com>をご覧ください。
※応募者多数の場合は抽選となります。
- 問合せ 東京都町村会 ☎042(384)8041

主催：特別区長会・東京都市長会・東京都町村会
企画運営：公益財団法人 特別区協議会・公益財団法人 東京市町村自治調査会

インターネット放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

8月・9月予定の講座案内

114回

日時 8月8日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 宇宙機をつくる～宇宙の環境と宇宙機開発の常識
講師 津野 克彦 氏(理化学研究所EUSOチーム/戎崎計算宇宙物理研究室テクニカルスタッフ)
内容 「はやぶさ」や地球観測衛星等の宇宙機や、宇宙機に搭載する機器の開発では、地上機器と異なる設計が必要とされます。これは、宇宙空間に大気がないことと無重量であることが主な理由です。地上とは異なる宇宙機の宇宙空間での不思議とも思える振る舞いや現象について紹介したいと思います。

115回

日時 9月12日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 自然への招待～もう一度「自然」について考えてみよう～
講師 三島 次郎 氏(桜美林大学名誉教授、元筑波大学教授)
内容 「自然が好きですか?」こんな問いかけに皆さんはどのようにお答えになるでしょう。自然とのより良い関係を保つためには、相手(自然)をよく知る必要があります。生物的自然の法則性の理解、生態学の知識が不可欠です。基本的な「自然の法則」について生態学の視点から、身近な例を取り上げて紹介します。

講座場所：多摩交流センター 第2会議室
サテライト会場：武蔵野市かたらいの道
受講料等：無 料(但し資料代100円)
ライブ中継・VOD視聴：無 料(<http://tsgn.dyndns.org/tsgn/>)
初回から視聴可 インターネットでVOD視聴(無料)できます。
問合せ： ☎ 080-3427-9848(高原) ☎ 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京

雑学大学

講義案内

(※会員受講料無料・会員外は8月8日と9月12日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第899回	8月 1日(木) 午後2時から	武蔵野地域の空襲と戦争遺跡	牛田 守彦 氏 (武蔵野の戦争遺跡を記録する会副代表、 法政大学中学・高校教諭)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 西へ徒歩3分)
第900回	8月 8日(木) 午後2時30分から	宇宙機をつくる～宇宙の環境と 宇宙機開発の常識	津野 克彦 氏 (理化学研究所EUSOチーム テクニカルスタッフ)	遠隔視聴(サテライト)会場 ※ 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分)
第901回	8月15日(木) 午後2時から	樋口一葉の“裏紫”を読む	岩淵 宏子 氏 (日本女子大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 西へ徒歩3分)
第902回	8月29日(木) 午後2時から	地震・断層・地震の被害	角田 清美 氏 (駒澤大学非常勤講師)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第903回	9月 5日(木) 午後2時から	“関東大震災と鉄道” そして来たるべき地震への心構え	内田 宗治 氏 (フリーライター、 元実業之日本社ブルーガイドシリーズ編集長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 西へ徒歩3分)
第904回	9月12日(木) 午後2時30分から	自然への招待～もう一度 「自然」について考えてみよう～	三島 次郎 氏 (桜美林大学名誉教授、元筑波大学教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 ※ 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分)
第905回	9月19日(木) 午後2時から	アーカイブの世界	小川 千代子 氏 (国際資料研究所代表)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 西へ徒歩3分)
第906回	9月22日(日) 午後2時から	その数、なぜ使われる? 三・五・七などの由来や謎解き	須知 正度 氏 (元証券会社社員、全金融機関嘱託、 コンプライアンスアドバイザー)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 東へ徒歩1分)
第907回	9月26日(木) 午後2時から	映像によるロシアの旅行 ～大河ボルガの辺に立つ	長屋 晃 氏 (ロシアレストラン“渋谷ロゴスキー”元取締役)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。
[詳細問合せ先] ☎042-465-3741(浅田) ☎0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾

25年度塾生応募状況

今年度10月開講の17講座の応募を締め切りました。
 応募状況は以下のとおりです。沢山ご応募いただき、ありがとうございました。
 応募者数が定員をオーバーしている講座は抽選となります。抽選は、8月3日(土)11時から行います。

応募状況

No.	講座名	講師名	定員(人)	応募者数	No.	講座名	講師名	定員(人)	応募者数
1	中国語で話そう	桑野 淑子	26	26	10	世界に一つの人形で周りの人を驚かそう	児玉明彌子	26	16
2	解きほぐし「新古今」—歌人の人生を覗く—	伊庭 京子	32	22	11	航海秘話 海の間人模様	中村 孝	32	23
3	アロマ・ハーブでナチュラルライフ	矢田 薫	26	72	12	すぐ使えるカラーコミュニケーション講座	中間たかえ	26	76
4	お煎茶を通して身につけ学ぶこと	斉藤 祥子	26	30	13	朗読劇で楽しく声を出しましょう!!	山崎 巖	26	56
5	神楽と出会う	三上 敏視	32	6	14	「自然誌」文学と一緒に読みましょう	塚本 正司	32	15
6	リフレッシュ ヨガ	町田さと子	26	49	15	万葉集を読む	葛山 由博	32	28
7	柿渋クラフト講座—貫張りを作ろう	成田 昭夫	26	56	16	シャンソンが誘うパリの歴史	小西 厚子	32	35
8	日本語の意外性	梅林 義雄	32	49	17	初心者のための“楽しいウクレレ教室”	林 輝男	26	52
9	実践・楽しいウォーキング講座	手島 正夫	26	89	※「No.5 神楽と出会う」は実施しないこととなりました。				

24年度開講講座 終了

平成24年10月及び25年3月に開講した全22講座が終了しました。
 10ヶ月コースが13講座、5ヶ月コースが8講座でした。応募者1,072名のうち当選した522名の方々が受講し、終了されました。それぞれの講座の受講生から、「最初は緊張したが、講座の日が待ち遠しくなった」、「今まで知らなかった世界に触れて、人生が彩豊かなものになった」等の声が寄せられています。

10月開講

No.	講座名	受講者数(人)	No.	講座名	受講者数(人)
1	10カ月で学べる透明水彩画のツボ	26	10	エンジョイ・トールペイント	16
2	詩を楽しむ	18	11	ペン・筆ペン習字講座	25
3	音楽事始(音楽の教科書にそって学ぼう)	26	12	樹木ウォッチング	26
4	一度で通じる米英語発音を身につけよう!	23	13	朗読—今を生きる	26
5	城郭を通して見た東国の戦国争乱	30	14	布に描く四季の花々(染色画)	9
6	家庭菜園だからできる無農薬栽培	30	15	野菜ソムリエの季節の美味しい話	36
7	中国気功十六式太極拳	26	16	韓国語でお話してみませんか	29
8	四季折々のアロマセラピー	26	17	アンデスの笛 ケーナを吹こう	20
9	香りの誘い中国茶の魅惑	26	18	吟詠へのいざない	18

3月開講

No.	講座名	受講者数(人)
1	マジックを体験してみませんか	26
2	土方歳三と新選組ウォーク	30
3	病とくすりの歴史散歩	30

日曜
講座

第95回

講座名 「星めぐりから星の進化へ
—オリオンからカニ星雲までの旅—」

講師 山本 安夫氏

日時 10月20日(日)午後2時～4時

場所 多摩交流センター第2会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第二庁舎6階

広域的市民ネットワーク活動助成等事業紹介

—9・10月開催イベント—

助成事業

在日一世と家族の肖像・写真展 in 八王子

日時 9月21日(土)午後2時～午後8時
22日(日)午前10時～午後4時
場所 八王子市いちょうホール第2展示室
(JR中央線八王子駅北口徒歩13分)
内容 私たちが会うことのできた在日朝鮮・韓国人の一世の方がたから、お話をうかがいました。生いたち、渡日の事情、そしてその後の日本での生活や家族のことなど……。それぞれのお手元に大切に残されていた貴重な写真とともに、パネルに仕立て、展示します。
入場料 無料
主催 チマ・チョゴリ友の会:同八王子支部
問合せ ☎090-3085-7557(松野)



活動支援事業

第2回 TOKYOシャンソンフェスティバル

日時 9月23日(月・祝)
午前11時、午後3時開始の2回公演
場所 府中グリーンプラザけやきホール
(京王線府中駅北口徒歩1分)
内容 好評を博しました昨年に続く2回目の公演です。多摩地域全域から集ったシャンソンファンが更に内容を充実させ、シャンソンの数々を披露します。1部「シャンソン・ギャラリー」では日頃自慢の喉を、2部「シャンソン・ドラマ」は若いダンサーや役者さんたちを交えて、ダンスと芝居と映像が織り成す華やかなステージをお楽しみ下さい。
入場料 1,500円
主催 TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会
問合せ 後藤かをる ☎090-9643-6030



活動支援事業

第5回 クラップクラップカーニバル —みんなが楽しめるコンサート—

日時 9月28日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
場所 バルテノン多摩小ホール
(京王線多摩センター駅 徒歩5分)
内容 「クラップクラップカーニバル」は、「小さい子がいるため、普段コンサートに行きたいけど行けない」というお母さんお父さんでも聴きに來られる「騒いでも大丈夫」なコンサートです。今回は名作「セロ弾きのゴーシュ」を題材にお子様でも楽しめるようアレンジした音楽。そして、「はらぺこあおむし」の語りや、みんなで歌える童謡。もちろん本格的なクラシックの演奏も。内容盛りだくさんのコンサートを、是非家族そろってお楽しみください。
入場料 大人2,000円、子ども1,000円
(ひざの上に乗せられるお子様は無料)
障害をお持ちの方 2割引
主催 音楽工房アトリエMINS
クラップクラップカーニバル実行委員会
問合せ ☎042-798-1728(代表 湯浅)
ホームページ <http://www.atelier-mins.com>



助成事業

歌う会 第16回 記念祭

- 日時** 9月28日(土)開演午後1時(午後12時30分開場)
終了予定午後4時
- 場所** 小金井市民交流センター 大ホール
(JR中央線武蔵小金井駅南口徒歩1分)
- 内容** この記念祭は、会場の皆さんと「大きな声で、気持ち良く、思う存分に楽しく」歌います。当日配布の素敵な歌集を見ながら、指導者のピアノやアコーディオン、フルートなどの伴奏で、日本の抒情歌、童謡唱歌、世界の愛唱歌などを歌います。また、クラリネット、ジャズ、サクソカルテット、指導者一家の演奏などを聴きます。
- 参加費** 500円(当日の参加申込みは扱いません)
- 主催** 歌う会第16回記念祭実行委員会
- 問合せ** 佐々木 ☎042-382-7731



助成事業

第4回「協奏曲と合唱の調べ」演奏会

- 日時** 10月6日(日)午後2時開演
- 場所** 東大和市民会館(ハミングホール)
(西武拜島線東大和市駅徒歩7分)
- 内容** 指揮 松井真之 管弦楽 マイスター・シンフォニカ
協奏曲 アルベニス作曲「スペイン狂詩曲」
ピアノ：中村光太郎
ライネッケ作曲「フルート協奏曲」
フルート：谷本 千種
合唱 ヴィヴァルディ作曲「グローリア」
ブルッフ作曲「美しきエレン」
ソリスト：文屋小百合(ソプラノ)
小林 由佳(アルト)
押川 浩士(バリトン)
- 〈特別企画〉中・高校生(参加費無料)を招待し、
カンタータ「土の歌」から『大地讃頌』をオーケストラ
と合唱団と共に歌います。(誰でも参加できます。)
- 入場料** 2,500円
- 主催** 東大和フィルハーモニー合唱団
- 問合せ** 丸山 ☎090-1125-3747
maru868131@yahoo.co.jp
菊地 ☎090-8031-5789
FAX042-563-6856



助成事業

第7回 生涯学習展
—ともに高めよう地域の元気力—

- 日時** 10月19日(土)午前10時～午後5時
10月20日(日)午前9時30分～午後4時
- 場所** 調布市文化会館「たづくり」11階・12階
(京王線調布駅南口徒歩3分)
- 内容** 書画・写真(イラスト)・手工芸品等の作品展示、
地域活動事例、マジック・折紙・パッチワーク
キルト・ビーズアート・子ども科学教室(電気実験
教室)等の実演・体験学習、大学教授等の講演
や会員講師の古文書講座等、ご来場者との相互
学習、学習相談等でどなたも参加できます。
きて、見て、体験してみませんか!
- 入場料・参加費** 無料
- 主催** 東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会
- 問合せ** 会長 中村岩男 ☎/FAX042-486-0371
E-mail YQI01703@nifty.com



助成事業

山のふるさと村音楽祭

- 日時** 10月20日(日)午前10時15分～午後3時
- 場所** 東京都立奥多摩湖畔公園
山のふるさと村(奥多摩町川野1,740)
- 内容** 山のふるさと村の豊かな美しい自然の中で、地元の和太鼓・中学生の吹奏楽、佐田詠夢、クリストファー・ハーディ、新日本フィルハーモニー交響楽団の金管アンサンブル等を招き、ジャズ、フラメンコ、クラシックなど多ジャンルの曲が演奏され子どもから大人まで楽しめる内容になっております。
- 入場料** 無料
- 主催** 山のふるさと村音楽祭実行委員会
- 問合せ** 山のふるさと村音楽祭実行委員会事務局
(奥多摩町観光産業課内)担当：坂村・山宮
☎0428-83-2295 FAX0428-83-2344
- ホームページ** <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>





「多摩のかけはし」ありがとう！

1994

2013

平成6年7月に創刊し、19年の長きにわたり多摩地域の皆様に親しんでいただきました「多摩のかけはし」ですが、この10月からは、多摩地域のみならず島しょ地域の情報も加え、新たに、多摩交流センターの母体である(公財)東京市町村自治調査会の機関紙「ぐるり39」として生まれ変わります。

したがって、「多摩のかけはし」という名称での発行は今号で最後となります。長い間ご愛読くださりましてありがとうございました。「多摩のかけはし」に掲載していた情報は、引き続き新機関紙の紙面の中でお知らせしていきます。今後は、「多摩のかけはし」同様、「ぐるり39」をぜひお手に取ってご覧ください。

ここで少し「多摩のかけはし」を振り返ってみます。

「多摩のかけはし」命名の経緯

多摩交流センターは、「TAMAらいふ21」を契機に構築された市民ネットワークの活動支援と交流の場の提供を目的として平成6年に開設されました。

その事業広報のため発行する情報紙について、愛称を公募し、多摩全域からの応募作品393点の中から選ばれたのが稲城市の加藤健一さん作「多摩のかけはし」です。その趣旨は“市民と行政と交流センターの3つを相互につなぐ架け橋の役割を果たす”というものでした。

季刊でスタートした「多摩のかけはし」

創刊当時は季刊(年4回発行)でした。翌年から奇数月発行の隔月刊となっています。

6ページでスタートし、これが平成9年7月発行の17号まで続きました。同年8月発行の18号からは8ページとなり、平成15年6月発行の54号まで続きます。

また、平成15年4月発行の53号から偶数月の隔月刊となり、同年8月発行の55号から12ページに拡充されました。より多くの市民活動の紹介に努め、より読みやすい紙面を模索しながら、改善を重ね現在の形が出来上がってきました。

表紙を飾ったのは

謡口早苗さんのイラストに始まり、平沼潔さんのスケッチ、西多摩百景展入選作品等の写真を経て、その後公募による応募作品の写真やスケッチで飾っていただきました。

平成24年6月からは、多摩交流センターの登録団体会員の作品発表の場として活用していただきました。

これらの表紙をご覧になった読者の方から、「これはどこの風景を撮影(スケッチ)したのか」等のお問い合わせをいただくこともありました。

表紙を飾った作品



◀表紙公募作品
「せいせき多摩川花火」
府中市四谷(樋口 徹)



◀イラスト(謡口 早苗)



▲立川・昭和記念公園(平沼 潔)



◀「背中に小さい春」
(第2回西多摩百景展
特選作品)
あきる野市・広徳寺
(大澤 頼章)



▲表紙公募作品「数馬に里の秋」
檜原村・数馬(中村 嘉宏)



▲登録団体会員作品「クレマチス」(きりえ作品)
(森 清哉)

発行部数は延べ2,515,000部

開設準備号は20,000部でした。

創刊号～ 2号	20,000部
3号～ 35号	30,000部
36号～ 47号	25,000部
48号～ 53号	24,000部
54号～ 59号	23,500部
60号～ 71号	15,000部
72号～113号	16,000部
114号～115号	14,000部

以上のように、発行部数も時代によって変遷がありました。

どんな記事が載っていたか

多摩交流センターだよりとして発行された「多摩のかけはし」は、多摩交流センター事業の広報にとどまらず、市民交流に関わる記事を多岐にわたって掲載してきました。

終始一貫して掲載してきたのが「TAMA市民塾」です。市民交流の拠点として発足した多摩交流センターは、

平成7年に生涯学習の場の提供を目的として、市民による、市民のための学習の場を提供するため「TAMA市民塾」を立ち上げました。そのため、塾生募集、講師募集、日曜講座のPR等を紙面上で行ってきました。

また、「TAMAらいふ21」で培われた市民ネットワークの育成を目的とした助成・活動支援事業に関する記事や、「とことん討論会」「多摩の歴史講座」「多摩発・遠隔生涯学習講座」といった多摩交流センターと市民団体等との共催事業に関する記事のほか、助成団体等の広報支援としてのイベント記事掲載などがありました。

その他に、市民ネットワークグループの紹介、地域の行事の紹介等がありました。

東京TAMAタウン誌会と行った共同企画(取材記事)は、その後補足取材・加筆を行い、「多摩セカンドライフ大満足事典」として出版されたものもありました。

「多摩のかけはし」の発行の目的の一つとして、多摩地域で暮らす人々の生活に潤いをもたらす一助でありたいという思いがあります。お伝えした記事が、一つでも皆様の生活にひとときの潤いをもたらすことができていると幸いです。

今後は、「ぐるり39」の紙面で引き続きお伝えしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

タイトルロゴの変遷

▲平成6年(創刊号)～平成12年(No.36)

▲平成12年(No.37)～平成18年(No.71)

▲平成18年(No.72)～平成20年(No.83)

多摩のかけはし

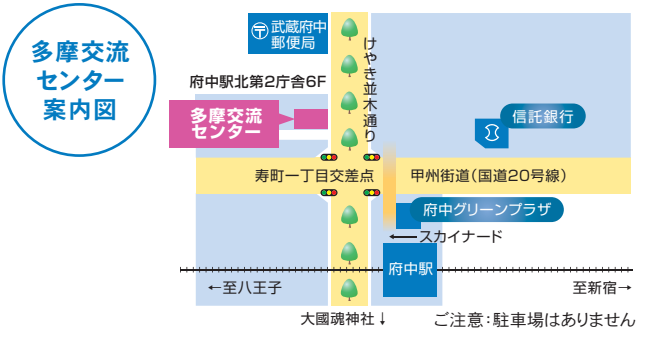
▲平成20年(No.84)～平成22年(No.95)

多摩のかけはし

▲平成22年(No.96)～平成25年(現在)

編集後記

- 以前にも小欄で触れましたが、今年は、多摩東京移管120周年に当たります。
- これを記念して、東京都では、「たま発!」と称し、様々なイベントを展開していくとのことです。
- 8月の24、25日には、そのメインイベントとして、立川の昭和記念公園で、「多摩フェスティバル」が開催されます。当日は、グルメ、特産品、文化、アニメ、スポーツ等、多摩地域の様々な魅力が集結するようですので、ぜひ足を運ばれてはいかがでしょうか。
- 多摩交流センターでも、120周年記念イベントとして、歴史講座や講演会の開催などを予定しております。どうぞご期待ください。
- そして、9月からは東京多摩国体「東京スポーツ祭2013」が開かれます。多摩地域でも各地で競技が行われ、全国から集まったアスリート達が熱き戦いを繰り広げます。今年が多摩は、例年にも増して、「暑い」夏になりそうです。
- これまでご愛読いただきました「多摩のかけはし」ですが、次号(10月号)からは「ぐるり39」として、装いも新たに再スタートします。引き続き多摩地域の情報も発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



発行日 2013年8月1日
 発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会 多摩交流センター
 責任者 桑原正志
 〒183-0056 府中市寿町1-5-1
 府中駅北第2庁舎6階
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>
 過去1年分のバックナンバーはHPでご覧になれます。
 Eメール tama001@tama-100.or.jp
 印刷 株式会社 共同印刷所



多摩東京移管120周年
多摩の魅力発信プロジェクト

(公財)たましん地域文化財団・(公財)東京市町村自治調査会 共催

「多摩の歴史講座」(第17回)

～テーマ～

移りゆく多摩の景観と暮らし

今年は、多摩地域が神奈川県から東京府に移管されて120年目になります。この間、第二次大戦前から戦後復興、高度経済成長期を経て地域の景観や暮らしは大きく変貌してきました。本講座では、多摩各地の博物館で収集・調査の進む写真資料や、集合住宅歴史館に移築された昭和初期～40年代の集合住宅から、多摩の景観や暮らしの移り変わりを改めて考えていきます。

第1講 10月25日(金) 午後1時30分～午後3時30分

「変貌する農村 ―戦前から戦後の日野の暮らし―

講師:北村澄江氏

(日野市郷土資料館嘱託員)

第2講 11月 8日(金) 午後1時30分～午後4時

見学会 「集合住宅歴史館一同潤会アパートから戦後の2DK・テラスハウス・高層アパートへ、集合住宅の歴史から見る多摩の団地」

講師:祖谷 太氏(都市再生機構技術研究所副所長)

場所:都市再生機構技術研究所内集合住宅歴史館
(八王子市石川町2683-3)

JR八高線「北八王子駅」から徒歩10分
午後1時30分 技術研究所本館会議室集合

第3講 11月22日(金) 午後1時30分～午後3時30分

「村から街へ ―多摩ニュータウン事業用写真を『読む』―

講師:清水裕介氏

(公益財団法人
多摩文化振興財団学芸員)

■場 所 第1講・第3講は国分寺労政会館(予定)
(JR中央線国分寺駅南口5分)
第2講は都市再生機構技術研究所内集合住宅歴史館

■参加費 無 料

■申込方法 記入例を参考に往復ハガキで一人様1枚でお申込みください。

■申込締切 平成25年9月15日(日) 当日消印有効

■定 員 120名(定員を超えた場合抽選となります。)

■申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係

■問 合 せ 《講座内容について》たましん地域文化財団 ☎042-574-1360

《お申込みについて》多摩交流センター ☎042-335-0100

記入例:往復はがき
(往信裏面)

返信表面に
住所・氏名を
忘れずに

自分の住所・名前

●歴史講座
受講希望

- ①郵便番号・住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③年齢・性別
- ④電話番号



記念イベントの
お知らせ

日 時 平成25年11月27日(水) 午後1時20分～(午後1時開場)

場 所 府中 グリーンプラザ けやきホール

内 容 第1部 映画上映 「はやぶさ 遙かなる帰還」

第2部 講 演 「はやぶさ1号2号による小惑星探査」

講 師 JAXA教授 國中 均氏(はやぶさ2プロジェクトマネージャー)

入場料 無 料

詳細は10月発行の調査会機関紙「ぐるり39」及びホームページでお知らせします。

多摩交流センター登録団体の会員募集

「歴史の道を歩く会」

●活動内容:歴史に興味を持つ同志が集まり平成15年1月に発足した会です。甲州街道を中心とする江戸五街道の歴史探訪を行っています。今年度より「多摩30都市歴史探訪会」「歴史の道探訪会」「江戸名所図会探訪会」の3部会を立ち上げ、毎月1回～2回の実地探訪

を予定しています。実地歴史探訪を生徒学習のテーマとされている方、ご参加をお待ちしています。

●会費:会員登録1,500円/年
(毎月行事予定をお届けします)

●連絡先:
栗坂☎/FAX 042-393-1604
神谷☎/FAX 042-581-5368

